



独立行政法人 労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター研修案内(令和6年10月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和6年8月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
9月3日(火)	10時～	10月2日(水)	1 4 時～1 6 時	産業保健と法～ハラスメントと法～	専門2
	10時30分～	10月4日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	11時～	10月11日(金)	1 4 時～1 6 時	治療と仕事の両立支援	専門2
9月4日(水)	10時～	10月16日(水)	1 4 時～1 6 時	安全衛生分野における監督指導の実務	更新2
	10時30分～	10月17日(木)	1 4 時～1 6 時	メンタルヘルスの事例検討～産業医としてどう対応するか～	実地2
	11時～	10月22日(火)	1 4 時～1 6 時	労働関係法令等の動向 ～新たな化学物質規制、個人事業者の安衛法適用等、法令の相次ぐ改正を考える～	更新2
9月5日(木)	10時～	10月25日(金)	1 4 時～1 6 時	最近における産業保健関係法令等について	更新2
	10時30分～	10月28日(月)	1 4 時～1 6 時	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方	専門2

研修日時	研修テーマ	講 師	単 位	定員
10月2日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 9月3日(火) 10時～	産業保健と法～ハラスメントと法～ ハラスメント、特にパワーハラスメントに関する法律論について、主要な裁判例を素材として、また、演者が触れてきた数多くの事例を念頭に、実務上の留意点を説きます。グループワークにより、ある事例について意見交換していただくセッションも設けます。	社会保険労務士 法人エスネット ワークス 特定社会保険労 務士 森 克義	生涯・ 専門2	32
10月4日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 9月3日(火) 10時30分～	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・ 実地3	16
10月11日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 9月3日(火) 11時～	治療と仕事の両立支援 少子高齢化、グローバル時代の中で重要度が増している『治療と仕事の両立支援』の総論として、療養の考え方、復職判定、事例性/疾病性、医学用語の事例性の言葉への翻訳、気づきにくい症状(invisible symptoms)などの基礎知識を解説します。『治療と仕事の両立支援』の各論として、①メンタルヘルス不調と就労、②がんと就労(がん予防・がん検診・がん治療と仕事の両立支援)、③循環器疾患と就労について解説します。	遠藤 源樹	生涯・ 専門2	55
10月16日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 9月4日(水) 10時～	安全衛生分野における監督指導の実務 働き方改革関連法施行以降における、事業者と産業医各々の法的責任と、これによるリーガルリスクを今一度整理して、確認し、特に、実務への影響が大きいと考えられる「産業医の誠実義務」の法的リスクに焦点を当てて説明します。また、最近の法改正と労働行政の動向をキャッチアップするとともに、具体的に問題となりえる事例(監督指導上問題となり得る事例)を取り上げながら、法的な留意点と適切な対応(法的リスクの回避・低減策)について説明します。	ニシワキ法律事 務所 弁護士 西脇 巧	生涯・ 更新2	55

10月17日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 9月4日(水) 10時30分～	メンタルヘルスの事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面するメンタルヘルスの問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいか、一緒に考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 実地2	50
10月22日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 9月4日(水) 11時～	労働関係法令等の動向 ～新たな化学物質規制、個人事業者の安衛法適用等、法令の相次ぐ改正を考える～ 化学物質規制については対象物質が大幅に増加しており、今まで化学物質と無縁だと思っていた三次産業等の事業場でも今後は対応が必要となることが予想されます。 個人事業主に対する労働安全衛生法の適用についても一定規則の改正が行われましたが、今後も改正が続くと思われます。 また、家事使用人を労働者に含める等の労働基準法の改正も行われる予定であるほか、脳心臓疾患や精神障害の労災認定基準についても変更が相次いでいます。 労働関係法令等について現在どのような改正が行われ、そして今後どうなっていくのか、その動向について考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・ 更新2	55
10月25日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 9月5日(木) 10時～	最近における産業保健関係法令等について 最近における法令改正・通達発出について学び、産業医が事業場に対して指導すべき事項を確認する。	石井 義脩	生涯・ 更新2	55
10月28日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 9月5日(木) 10時30分～	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方 小売業、飲食店の労働災害は未だ増加傾向にあり、わが国の労働災害防止推進上の大きな課題です。 本研修では、小売業、飲食店の労働災害を防止するため、職場巡視等に役立つ業態別の労働災害の特徴、労働災害を防止させた企業の労働災害防止対策の具体的な取り組み好事例、さらには、これら業種で最も多発している転倒災害を防止するため、転倒災害の心理的・内的要因、転倒経験者インタビュー調査結果、転倒リスクに係る身体機能低下の計測方法例、転倒予防体操事例、運動器外傷データを用いた転倒データ分析結果などを紹介します。	労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員 高木 元也	生涯・ 専門2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて9月2日(月)10時～ です。

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講 師	定 員
10月3日(木) 14:00～16:00	元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動～対応事例～ 大手印刷会社で20年以上メンタルヘルス対策に携わった経験を基に、元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動の一例を紹介します。そして、メンタルヘルス活動に携わっている担当者にとってメンタル不調者の休職中の対応から復職支援について、対応事例によるグループワークから対応方法を共有していただきます。 また、ストレスによる腰痛、頭痛を予防する簡単にできる運動方法(骨ストレッチ)も紹介します。	中災防安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	55
10月7日(月) 14:00～16:00	知っておくと便利な自前のできる社内研修のツール ～人間関係への気づき やりとり分析～ この研修では、セルフケア研修に活用できるコミュニケーション分析について解説します。	森崎 美奈子	30
10月15日(火) 14:00～16:00	衛生委員会の運営と産業保健 労働衛生(安全衛生)の現状と労働安全衛生法規を踏まえ、労働者の健康保持増進を進めていくためには、今、産業保健スタッフ、および、衛生(安全衛生)委員会は、何をどうすればいいのか。参加者の方々の職場の現状と講師の行政と民間会社における経験を交えて、参加者の方々の、今後の産業衛生活動の一助にでもなるような話にしたいと思います。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、別講師による「働く人と職場における勤務間インターバル制度の価値」の講義を行います。	秋元 成康	55
10月18日(金) 14:00～16:00	部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーションⅡ 援助になるかわり方について振り返り、学んでいきます。 I (令和3年度実施)での研修内容に加えて、メンタルヘルス不調の部下を抱えた上司の支援について考えます。	松島 尚子	29
10月21日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス『社内研修の進め方』～セルフケア～ 「心の健康づくり計画」にあたって4つのケアを中心に策定されており、社内研修はその理解を深める教育・情報提供の場となります。 加えて最近4つのケアの円滑な相互の「連携」をすすめていくことが必要とされています。 ここ数年のcovid-19の影響もあり、セルフケアの必要性が再認識されています。 今回はアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法等を解説します。 事業所に戻れば社内研修の実施者となる参加者の方々とともに、関心、興味を集める社内研修の進め方について一緒に考えていきたいと思います。	松井 知子	55
10月23日(水) 14:00～16:00	働き方改革関連法をめぐる現状と課題 ～時間外労働の上限規制とカスタマーハラスメント～ 2019年4月に施行された「働き方改革関連法」及び同法の基礎となった「働き方改革実行計画」について時間外労働の上限規制を中心として振り返り、長時間労働者の現状と課題及び2024年4月に施行された「適用猶予事業・業務(建設業、自動車運転者及び医師)の時間外労働規制のあらましを解説します。 また、2023年9月に「精神障害の労災認定基準」に追加されたカスタマーハラスメントの対策について解説します。	荒川 輝雄	55
10月24日(木) 14:00～16:00	がんの診断、治療、そして職場復帰支援をサポートして ～生きる意味を深める～ 健康診断受診結果、あるいはある症状がでて受診した、たまたま受診したら、がんの診断を受けてしまった、というように、いろんな対処すべきことに対する向き合いがはじまります。 この歩みはこの先の人生へと大きく影響することになります。 また「がん」という病気との闘いにもなりますが、そんな岐路に立つことを一緒に、実践例を基に、人生を深められる経験をしたがん伴走をお伝えしていければと思います。 生涯のうち二人に一人はがんになると言われるいま、がんをなくすことはできませんが、早期発見をまずは第一に、がんと共にいけることへの復帰支援ですね。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
10月30日(水) 14:00～16:00	自律的な化学物質管理～リスク評価・対策と健康管理の有機的な連携～ 令和4年度の法令改正により、新しい化学物質の自律的管理が令和6年4月から始まりました。 今後、化学物質管理は、事業者自らがリスクを評価し、対策を検討・実施することになります。 産業保健スタッフの業務に関連するところでは、従来の特別則で定められている健康診断に加えて、リスクアセスメントや対策に基づき健康診断の要否を判断して、自律的に健康診断を実施することになりました。 当研修では、自律的管理におけるリスクアセスメントや保護具を含めたリスク対策の概要を知り、健康管理との連動について考えます。	中原 浩彦	55